

令和5年度 保育所自己評価

園名 吹田市立片山保育園

保育所保育指針では、「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない」ことが明記されています。このことに基づき、公立保育園では毎年自己評価を実施しております。評価の結果を踏まえ、よりよい教育・保育に向けた、改善や充実に取り組んでまいります。

園目標

- ・心もからだも健康な子
- ・自分の思いを表現できる子
- ・仲間を大切にする子
- ・意欲的に取り組める子

評価結果の表示方法

- A・・・十分達成されている。 B・・・達成されている。 C・・・取り組まれているが、成果が十分でない
D・・・取り組みが不十分である。

自己評価項目	ABCD 評価	評価内容
保育理念	A	人権を大切にした保育を意識して行った。
子供の発達援助	A	子供の姿を職員間で共有し必要な手立てや環境づくりに取り組んだ。
保護者との連携	A	クラス懇談会、個人懇談、参観等を行うとともに、日々、子供の姿を伝え合い信頼関係を築いた。
地域との連携	A	地域の施設との連携を広げ、園内外での地域事業を行った。また、園児との交流や体験保育等を実施した。
運営・管理、社会的責任	A	服務規律を意識し、業務を遂行した。
職員の資質向上	A	園内研修を実施し、学習の機会をもった。
安心・安全	A	各種点検、修繕、清掃、訓練をして、より安全に保育できるように努めた。

今年度の評価

安心・安全な保育
身体づくり

子供たちが安心して過ごせる環境づくりのために、毎月安全点検を行いその都度、危険箇所や修繕が必要な物や場所について共有し改善に努めた。人数確認、子供の安全に留意しながら保育を行った。援助が必要なクラスに人的配置を工夫し応援体制を整えた。
年齢別の遊具設定を園内研修で学び、身体づくりに取り組んだ。

来年度の目標

- ・安心・安全な保育
- ・身体づくり